

小さな世界、北大祭で、コミュニティ通貨 Do をつかおう。

自分たちでまわす地域のお金



「円」ではない地域経済圏



壮大な社会実験に参加しよう



## 北大祭コミュニティ通貨実証実験 報告書

🕒 8日(土)・9日(日) 9:00 ~ 17:00 📍 附属図書館本館横駐車場  
主催：北大祭コミュニティ通貨実証実験チーム

# 目的

コミュニティ通貨を実際に流通させる中で、今後の社会実装に向けての課題を収集する。  
そのために、北大祭でコミュニティ通貨を実際に利用してもらう機会を作る。

## データ収集

- ・参加者の行動解析
- ・流通経路の計測

## スマホアプリの実働性の確認

スマホアプリ：「C.C.Wallet」



## コミュニティ通貨自体の広報

- ・当日企画の運営
- ・各種広報媒体の作成/各種メディアへの掲載



# 概要

開催場所	第61回北大祭(北海道大学構内)
開催期間	2019年6月8日(土)~9日(日)
参加人数(アプリダウンロード数)	300名
参加者属性	北大生、ならびに北大祭来場者
コミュニティ参加団体数	7団体



# 実験内容

スマホアプリのインストール、及びコミュニティ通貨の利用方法を参加者に説明。  
コミュニティ参加団体とも協力して、北大祭で実際に利用してもらう機会を参加者に提供。

## ルール

- ・コミュニティ参加団体には、事前に5000Doを配布している。
- ・Do送信の際の基準値は、「御礼=50Do」として設定。
- ・参加者のDo初期保有量は0。ただし、LETs方式(下限-2000まで許容)を採用している。
- ・Doを相手に送信する際に、送る理由をメッセージに記入する。

# 当日の様子



**運営時間**  
6月8日(土) 09:00~17:00  
6月9日(日) 09:00~17:00  
**場所**  
附属図書館本館横駐車場



# 当日企画

法定通貨“円”では価値を表現できない(できていない)モノやコトに、  
コミュニティ通貨“Do”で価値を付けて提供する企画を実施。

## セグウェイ試乗会

- ミニセグウェイに試乗できる(1回15分)。
- 価格は**150Do**。
- 小学生以上対象(耐荷重量20kg~100kgのため)。

## 返礼品企画

- 北海道産農産物(規格外品)をDoに交換できる。
- 農産物は2種類(トマト/アスパラガス)。
- 価格はスタッフとの交渉で決定。

### 見解

- 当日企画を通し、2日間合計で約150の方に実証実験の説明をできた。
- 企画自体も特に問題が発生すること無く、滞りなく実施できた。
- 家族連れでの参加が多かった印象。

→コミュニティ通貨に触れてもらう機会としては一定の成功。今後の  
利用方法の拡充が課題としては挙げられる。



# 各種広報媒体

「円」ではない地域経済圏  
コミュニティ通貨  
**Do** 実証実験って…?

**概要**

2000年代初頭に全国各地で地域活性化のために発行された地域通貨ですが、多くは紙による発行であったため管理コストが増大し、消滅、および縮小してしまいました。しかし、近年スマホやQRコードの普及が進み、これらの課題を解決する余地が広がっています。裏返してしまっただけの地域通貨を「コミュニティ通貨」として改めて見直し、様々な方にコミュニティ通貨を実際に利用してもらう機会を作ること、多様なコミュニティで流通可能なコミュニティ通貨の条件設定について課題検証を行うことが本実証実験の目的です。今回の実証実験では、「北大祭」を一つの仮想コミュニティとし、「コミュニティ通貨 Do」の実証実験を実施します。実証実験の結果は一般に公表するとともに、今後のコミュニティ通貨浸透のためのデータとして使用します。

**コミュニティ通貨 Do とは**

コミュニティ通貨 Do とは、今回の北大祭における実証実験で実際に利用できる北海道のコミュニティ通貨です。北海道という地域の中でも、特に第一産業とスポーツを軸としたローカルエコノミーで流通する通貨を目指しています。北大祭における Do の詳しい利用方法に関しては、[クワン](#)をご覧ください。

**今後の展望**

コミュニティ通貨 Do は、今後更なる実証実験を行いながら、社会実装させていく予定です。コミュニティ通貨の更なる発展、及び北海道全域で流通するコミュニティ通貨の確立を目指します。

**参加方法**

北大祭コミュニティ通貨実証実験特設 WEB サイトからアプリ「C.C.Wallet」をダウンロードし、新規アカウントを作成後、以下のように進んで「北海道通貨 Do」のコミュニティに参加してください。

ユーザーの新規登録 → 北海道通貨 Do に参加

※ユーザー登録時の名前、ユーザーIDは Do 交換時に相手に表示されます。

**お問い合わせ**

何かご不明な点がございましたら、こちらまでご連絡ください。  
Mail : 3c3s.hokudaisai@gmail.com  
北大祭コミュニティ通貨実証実験チーム

特設 WEB サイト →

コミュニティ通貨 Do の使い方 in 北大祭

コミュニティ参加団体  
参加団体から Do を集めて、セグウェイ試乗会や返礼品企画に参加しよう。  
参加団体の情報は随時 SNS にて公開中！  
このマークに注目しながら、北大祭を回ってね。  
@hokudaisai.community.money  
@3c3s\_hokudaisai

このマークが目印です！ →

**Do のもらい方・送り方**  
アプリをダウンロードし、ログインした状態のスマートフォンを事前に用意してください。  
「北海道通貨 Do」のコミュニティに参加する方法はオモテ面を CHECK!

**◆もらい方**  
赤い枠の「MyQR」をタップし、表示される QR コードを相手に見せるだけ！

**◆送り方**  
青い枠の「カメラマーク」をタップし、相手の QR コードを読み取った後、送るポイントとメッセージ (70 文字以内) を入れて「入力内容を確認」を押すと、取引完了！

**★特典★**

1. クーポンやおすすめ企画情報を GET !
2. 感想を直接参加団体に届けることができる !
3. 裏企画に参加できるかも…?

※注意事項  
Do は行と交換できません。また、北大祭以降使用できなくなる可能性があります。

コミュニティ通貨 Do を使ってみよう！

**セグウェイ試乗会**  
6月8日(土) 10:00~17:00  
9日(日) 10:00~17:00  
内容：セグウェイに乗れます  
対象：小学生以上 (耐荷重量 20-100kg)  
費用：150 Do  
その他：1回 15分

**MAP**  
文系棟、図書館、中央ローン、正門

**返礼品企画**  
6月8日(土) 10:00~17:00  
9日(日) 10:00~17:00  
内容：Do を北海道産の農産物に交換できます  
対象：全年齢  
費用：要交渉  
その他：農産物は 3~5 種類

詳しくはこちらから!!

小さな世界、北大祭で、コミュニティ通貨 Do をつかおう。

自分たちでまわす地域のお金 | 「円」ではない地域経済圏 | 大きな社会実装に参加しよう

⑧ 8日(土)・9日(日) 9:00~17:00 | 附属図書館本館駐車場  
主催：北大祭コミュニティ通貨実証実験チーム



詳しくはコチラで↑

**特設WEBサイト**  
<https://3c3s-hokudaisai.wixsite.com/website>

**各種SNS**

Facebook : <https://www.facebook.com/hokudaisai.community.money/>

Twitter : [https://twitter.com/3c3s\\_hokudaisai](https://twitter.com/3c3s_hokudaisai)

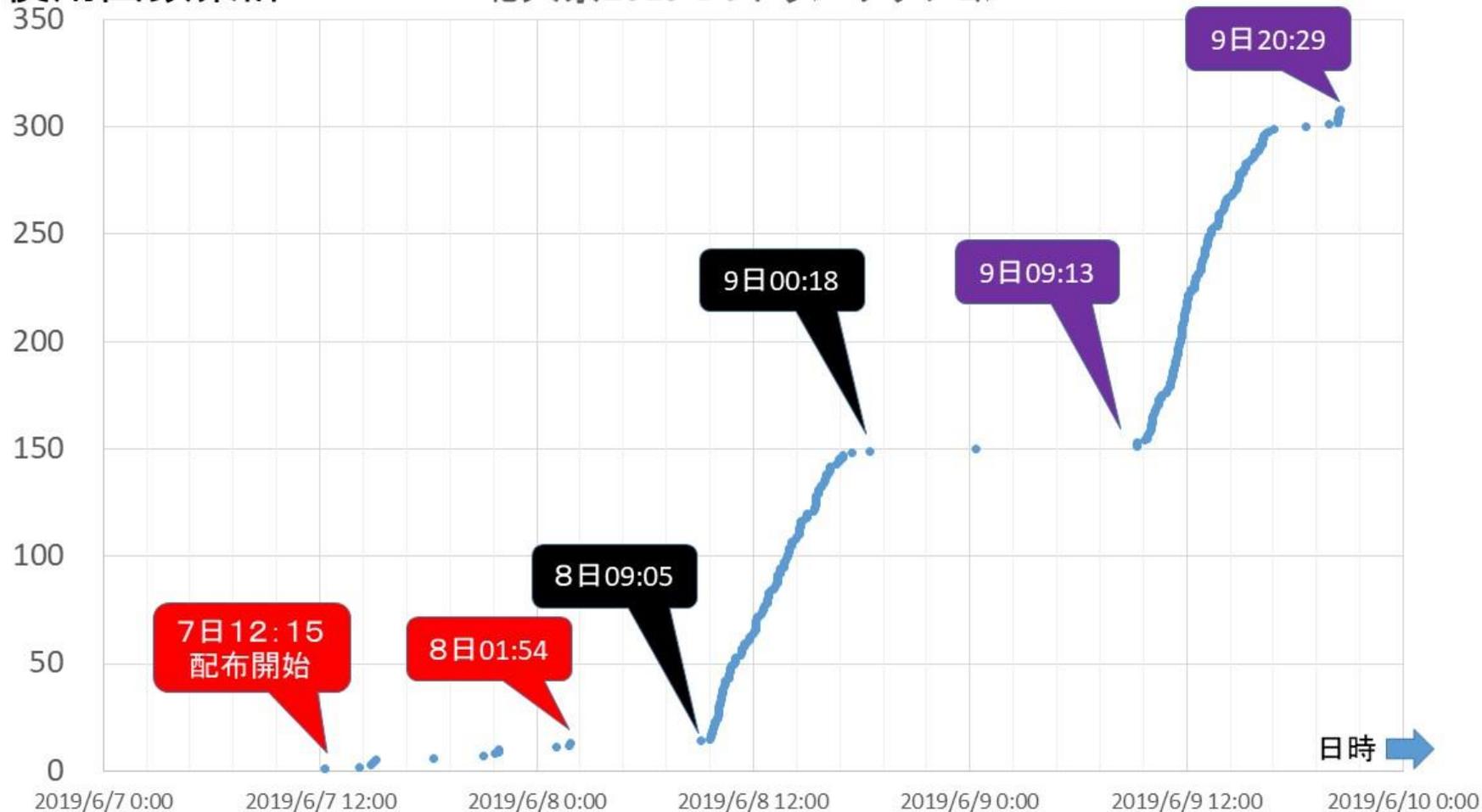
Instagram : [https://www.instagram.com/3c3s\\_hokudaisai/](https://www.instagram.com/3c3s_hokudaisai/)

# 北大祭でのトランザクション

累積トランザクション回数：308回

Do使用回数累計

北大祭2019 Doトランザクション



# 結論・展望

北大祭という様々な人が集まる場所で、まだコミュニティ通貨に触れたことの無い多くの人にアプリを実際に利用してもらうことができた。そのため、一般ユーザーの視点から今後に向けて多くの課題を収穫することができた。

## データ収集に関して

流通解析に関しては別途資料参照(近日公開予定)。一般ユーザーからは、「マイナス通貨」や「LETS方式」に対する違和感の声を多くいただいた。しかし、説明すれば理解してもらえる方が多かった。今後の要検討事項としては、コミュニティ通貨を稼ぐ手段が不足しているという制度設計の問題が挙げられる。

## スマホアプリに関して

SMSが届かないなどの不具合があるものの、おおよその参加者には利用してもらうことができた。「スマホを持っていない老人」「日本語が不得意な外国人」など、老若男女誰もが利用できるものにしていく必要はある。

## 広報に関して

各種メディアの取材を含め、北大生や来場者の方々にコミュニティ通貨Doに触れてもらうことができた。アプリダウンロード、およびコミュニティ通貨に関する説明からの目測では、コミュニティ通貨に対する理解度は6割程度。今後、通年で利用できるような事業化の方法を模索する必要がある。

# 【参考】各種メディアへの掲載

## 日本経済新聞

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ045679950U9A600C1L41000/>

## 北海道新聞

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/312396>

## いいね！北大

[http://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/like\\_hokudai/contents/article/1717/](http://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/like_hokudai/contents/article/1717/)

## その他

- ・ 時事通信社
- ・ ゆきんこチャンネル

## 北海道新聞

19 地域の話題 2019年(令和元年)6月6日(木曜日)

### 北大祭で地域通貨D.O.使おう

#### スマホで地域通貨D.O.使おう

学生チームなど計画 点数集めて特典

北海道大(札幌市北区)で行われる第61回北大祭(7・9日)で、D.O.の画面上でスマートフォンを使う地域通貨D.O.の使い方を証明し、D.O.は福島の企業がアプリを開発し、北大や北洋銀行、民間企業などが2月に設立した産官学共同組織が北大祭で初めて提供する新しい地域通貨。大学内をどう流通するか検証し、将来の普及に向けた課題を洗い出す。

地域通貨は1990年代から各地で生み出されたが、紙幣スタイルが多管理の手間がかかった。D.O.はスマートフォンを使ったポイントカードのスマホ版のような仕組みで気軽に扱えるのがメリット。スマホに専用アプリをダウンロードし、買い物をした際に店舗から示されるQRコードをスマホで読み取るとD.O.がもらえる。スマホ同士でD.O.の受け渡しもできる。実証実験は北大生による北大祭コミュニケーション実証実験チーム(金井一真代表)が実施する。

北大祭で使われる地域通貨D.O.専用アプリと、学生チームのメンバー代表

表が実施する。D.O.を提供する産官学共同組織「持続可能社会のためのコミュニケーション・通貨研究コンソーシアム」(会長・西部忠北大名誉教授、約30人)と連携して行う。

大学祭では露店などを出す最大10団体がD.O.を配る見通し。実験チームは大学祭を訪れた人たちにD.O.の利用を呼び掛けた。客はD.O.を配る店で商品を買うとD.O.のポイントをもらい、一定の点数を集めると、電動立ち乗り二輪車「セクワエイ」試乗体験や地元野菜の返礼の特典がある。詳細は北大付属図書館本館(北8西5)横の運営テントで案内する。学生チームの3宅隆裕副代表2013年からは「たくさんの方に使ってほしい」と話す。コンソーシアム事務局は、D.O.の利用状況を分析して改良を重ね、全道への拡大を目指す。実証実験は毎日午前9時～午後5時。アプリは、北大祭コミュニケーション実証実験サイト(https://3cs-hokudai.sai.wixsite.com/website)から無料で読み込める。(津野慶)

5日午後1時35分ごろ、札幌市中央区南3西10の中央区役所に、男の声で「爆弾を仕掛けた」と電話があった。通報を受けた札幌中央署員らが施設内を調べたが、不審物は見つからなかった。区役所によると、当時、区役所本庁舎2分庁舎に職員300人がおり、全員が一時避難した。けが人はいなかった。

野市も購入を検討している。選手は原則無給だが、こうした地域通貨を利用した選手は、選手を助けるのが目標。選手は受け取る地域通貨をどう消費するか、地域への活性化につながる。北大祭の実証実験では、産官学共同組織が、北海道各地でD.O.の流通を促進する研究をすすめている。研究は、北海道各地でD.O.の流通を促進する研究をすすめている。研究は、北海道各地でD.O.の流通を促進する研究をすすめている。

27 北海道特集

### 北洋銀北大などの地域通貨「D.O.」

#### 大学学園祭で使ってみて

消費活性化めざし実験

北海道大(札幌市北区)で行われる第61回北大祭(7・9日)で、D.O.の画面上でスマートフォンを使う地域通貨D.O.の使い方を証明し、D.O.は福島の企業がアプリを開発し、北大や北洋銀行、民間企業などが2月に設立した産官学共同組織が北大祭で初めて提供する新しい地域通貨。大学内をどう流通するか検証し、将来の普及に向けた課題を洗い出す。

地域通貨は1990年代から各地で生み出されたが、紙幣スタイルが多管理の手間がかかった。D.O.はスマートフォンを使ったポイントカードのスマホ版のような仕組みで気軽に扱えるのがメリット。スマホに専用アプリをダウンロードし、買い物をした際に店舗から示されるQRコードをスマホで読み取るとD.O.がもらえる。スマホ同士でD.O.の受け渡しもできる。実証実験は北大生による北大祭コミュニケーション実証実験チーム(金井一真代表)が実施する。

北大祭で使われる地域通貨D.O.専用アプリと、学生チームのメンバー代表

表が実施する。D.O.を提供する産官学共同組織「持続可能社会のためのコミュニケーション・通貨研究コンソーシアム」(会長・西部忠北大名誉教授、約30人)と連携して行う。

大学祭では露店などを出す最大10団体がD.O.を配る見通し。実験チームは大学祭を訪れた人たちにD.O.の利用を呼び掛けた。客はD.O.を配る店で商品を買うとD.O.のポイントをもらい、一定の点数を集めると、電動立ち乗り二輪車「セクワエイ」試乗体験や地元野菜の返礼の特典がある。詳細は北大付属図書館本館(北8西5)横の運営テントで案内する。学生チームの3宅隆裕副代表2013年からは「たくさんの方に使ってほしい」と話す。コンソーシアム事務局は、D.O.の利用状況を分析して改良を重ね、全道への拡大を目指す。実証実験は毎日午前9時～午後5時。アプリは、北大祭コミュニケーション実証実験サイト(https://3cs-hokudai.sai.wixsite.com/website)から無料で読み込める。(津野慶)